

一般社団法人 日本小児血液・がん学会  
第64回(令和3年度第7回)理事会議事録

日時:令和4年3月25日(金) 15:00~17:00

開催:web会議

出席者:大賀 正一(理事長)、米田 光宏、滝田 順子(以上副理事長)、小川 千登世、高橋 義行、多賀 崇、淵本 康史、菱木 知郎、藤 浩、滝 智彦、盛武 浩、松本 公一、井上 健、天野 功二(以上理事)  
井上 雅美(第63回学術集会会長)、越永 従道(第64回学術集会会長)、真部 淳(第65回学術集会会長)  
足立 壮一(JCCG理事長/第65回学術集会会長)  
余谷 暢之(オブザーバー)

(事務局は東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバン4階にて参加)

欠席者:奥山 宏臣、康 勝好、塩飽 仁、西川 亮(以上理事)、檜山 英三(以上監事)

議長:大賀理事長

本日の理事出席者は18名中14名であるため、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、以下の議案について逐次審議に入った。

### I. 前回理事会議事録(案)の確認

議長より、前回議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

### II. 審議事項

#### 1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の松本理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者5名(全員医師)が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

#### 2. 委員の交代について

教育研修委員会の盛武担当理事より、現委員である百名伸之委員(琉球大学医学部小児科)の退職に伴う退任の後任について報告された。22年11月の臨時社員総会までが任期となるため、後任の古賀友紀先生(九州大学医学部小児科)については、総会まではアドバイザーとして委員会へ参加していただくことが異議なく承認された。

#### 3. 教育セミナー

教育研修委員会の盛武担当理事より、毎年定時社員総会時期に開催する教育セミナーを2022年7月3日に開催することが報告され、異議なく承認された。なお、本セミナーには昨年に引き続き、中外製薬からの協賛が確定している。予定される講師は下記の通り。

軟部肉腫(RMS 以外)	宮地 充 先生(京都府立医科大学小児科)
固形腫瘍の分子生物学	大喜多 肇 先生(慶応大学病理診断科)
骨腫瘍	川井 章 先生(国立がんセンター中央病院希少がんセンター)
CML	遠野 千佳子 先生(岩手県立中部病院小児科)
血液疾患の分子生物学	柴 徳生 先生(横浜市立大学附属病院輸血細胞治療部)
緩和・社会支援	多田羅 竜平 先生(大阪市立総合医療センター緩和ケアセンター)

#### 4. システマティックレビューのための文献検索の予算について

診療ガイドライン委員会の多賀担当理事より、ガイドライン改訂に伴う、システマティックレビューのための文献検索の予算について報告がなされた。検索の委託を検討する2機関では費用に大きな差異があり、コストを抑えるため、医学図書館協会へ委託することが承認された。

#### 5. 弔事に関する庶務委員会内規改訂について

大賀理事長より、弔事に関する庶務委員会内規の改訂について下記の通り提案がなされ、異議なく承認された。改訂箇所は下記の2カ所である。

①訂正前 (1)生花・弔電(学会理事長名で)を送る。

訂正後 (1)生花と弔電(学会理事長名で)を送る。

②末尾への追記:

「なお、ご遺族の意向が確認された場合はこの限りではない。」

#### 6. 日本医学会総会登録推進委員推薦について

大賀理事長より、日本医学会総会登録推進委員推薦について、広報委員会委員より選出することが提案され、異議なく承認された。

#### 7. キャンサーネットジャパン主催「Japan Cancer Forum2022」の共催について

大賀理事長より、キャンサーネットジャパン主催「Japan Cancer Forum2022」について、例年通り今年も10万円の共催を行うことが提案され、異議なく承認された。なお、講演テーマ、演者についてはJCCGと本会広報委員会で検討・選出することとなった。なお、JCCG、及び、本会のいずれより選出された演者に対して、各会より20,000円/1名の謝金を支払うことが併せて承認された。

#### 8. 第63回学術集会収支報告について

第63回学術集会の井上会長より、大会収支決算についての報告が行われた。今後、3月の学会決算と併せ、5月上旬の公認会計士監査の後、学会監事による監査が行われることとなった。

#### 9. 小児がん登録連携問題について

学術・調査委員会の藤担当理事より、前回理事会より検討事項となった小児がん登録連携や2次利用についての調査結果が下記の通り報告された。

<調査結果>

- ・JCCGにおいてCHM14の登録例の転帰の解析を検討している。
- ・研究計画書では小児がん登録に入力されている転帰情報はCHM14の研究で利用できることになっている。
- ・データベースの構造上も小児がん登録の転帰情報をCHM14のデータと紐づけることは可能である。

なお、上記調査結果を受け、今後の対応について下記2点が承認された。

①CHM14の背景について詳細の確認を行う。

②予後調査については、学術調査委員会にて現状の確認、また各施設への呼びかけを行う。

※今後のWGなどについては、引き続きの調査、上記対応を行った上で、7月以降の新体制にて設置についての検討を行うこととなった。

また、この他、学術調査委員会でデータベースの在り方、連携について検討を重ねる際には、現場の医師の負担を増やさないよう、入力方法などを配慮配慮してほしいという意見が出された。

## 10. 専門医制度の資格更新申請状況について

専門医制度委員会の米田担当理事より、専門医制度の資格更新申請状況について、下記の通り報告され、承認された。

### <更新資格保持者 29 名>

- ・更新申請者 27 名  
(内、昨年度猶予の先生 3 名、更新期限切れの先生 1 名は念のため確認中)

- ・未更新者 2 名

#### 「指導医」

- ・更新資格保持者 8 名
- ・更新申請者 8 名(内、昨年度猶予の先生 1 名)
- ・未更新者 0 名

#### 「認定外科医」

- ・更新資格保持者 18 名
- ・更新申請者 14 名(内、昨年度猶予の先生 1 名、がん治療医認定なしの申請 1 名)
- ・未更新者 4 名

#### 「研修集会」

- ・更新資格保持団体 20
- ・更新申請団体 11
- ・未更新団体 9

## 11. 次回以降、理事会・社員総会日程について

今後の理事会、総会日程について以下の通り確認がなされた。

### 【理事会】

2022 年 5 月 27 日(金)		15:00~17:00
2022 年 7 月 1 日(金)	※定時社員総会終了後の開催 / 新・旧合同	17:30~
2022 年 7 月 29 日(金)	※新体制による第 1 回理事会	15:00~17:00
2022 年 10 月 7 日(金)	※日程変更※	15:00~17:00
2022 年 11 月 24 日(木)	※学術集会会期 前日の開催	13:00~15:00

### 【総会】

#### ●定時社員総会(WEB 開催)

2022 年 7 月 1 日(金)	15:00~17:00	定時社員総会
	17:30~	合同理事会

#### ●臨時社員総会(現地開催)※学術集会:2022 年 11 月 25 日(金)~27 日(日)

2022 年 11 月 26 日(土)	7:30~8:30	臨時社員総会
	8:30~9:00	学術賞講演
	9:00~9:45	優秀演題
	9:45~10:45	各賞授賞式/名誉会員推戴式

なお、会期前日、11 月 24 日の予定は下記の通り。

2022 年 11 月 24 日(木)	13:00~15:00	理事会
	15:00~16:00	プログラム委員会(予定)
	17:00~	国際交流会(予定)

## 報告事項

### 1. 第 64 回学術集会について

越永会長より、第 64 回学術集会(2022 年 11 月 25 日～27 日)について、現時点では、1 日目・2 日目は現地開催、3 日目は完全 WEB 開催で(ハイブリット開催は行わないことが報告された。また、現在タイムテーブルの検討中で、薬剤関連、及び、女性医師によるシンポジウムを追加開催することが報告された。

### 2. 第 66 回学術集会について

足立会長より、第 66 回学術集会(2024 年 / 京都)の開催日程について、他学会の予定と調整しながら検討中であることが報告された。

### 3. 診療ガイドライン委員会報告

診療ガイドライン委員会の多賀担当理事より、下記について報告がなされた。

- ①小児白血病・リンパ腫診療ガイドラインおよび小児がん診療ガイドライン 2016 年版改訂について
- ②日本緩和医療学会から小児がん疼痛に関するガイドライン作成の WPG への参加要請に対して、長谷川大輔委員と宮地充委員を推薦

### 4. 教育・研修委員会報告

教育・研修委員会の盛武担当理事より、下記について下記の通り報告がなされた。

#### ①日本がん治療認定医機構の単位未申請について

2021 年に行われた 3 回(2/27、7/3、10/2)の CLIC に関して、日本がん治療認定医機構の単位申請を行っていなかったため、この 3 回の CLIC を日本がん治療認定医の受験の単位として申請できないことを CLIC の受講者に連絡した。その結果、受講者 1 名より再受講の申請があり、2022 年度開催中に優先して無料で受講できるようにし、単位付与する予定である。これについては、CLIC 事業を業務委託先であるアイズプロダクションが単位申請を行っていると思込んでしまい、確認していなかったことによるもので、今後、単位申請については学会事務局が行うこととなった。

#### ②2022 年 03 月 05 日(土) CLIC 開催報告について

【総応募人数】42 名

【受講者数】36 名

(事前キャンセル:3 名/受講資格者:1 名/当日キャンセル:2 名/途中退室:2 名)

※受講証配布数は 34 名(途中退席者 2 名は配布なし)

小児血液がん学会会員:20 名 / 日本緩和医療学会会員:4 名 / 非会員:15 名

### 5. 新制度・研修施設群の新規申請の現況について

専門医制度委員会の米田担当理事より、新制度・研修施設群で初めてとなる申請(2021 年 12 月 1 日～2022 年 1 月 17 日)について、下記の通り報告された。

・申請数:105 施設

・2021 年度の認定施設 104 のうち 3 施設(愛知医科大学、兵庫医科大学、福岡大学)が専門医の退職などの理由で申請を辞退。今回初めての申請は 4 施設(岐阜大学、名市大、佐賀大学、沖縄県立こども医療センター)

・105 施設のうち 104 施設について施設要件が満たされていることを確認

※1 施設においては、小児外科医が常勤か非常勤かの解釈違いがあり、委員会での討議の結果、単独の認定研修施設としては認められないとの審査結果となった。当該施設は関連研修施設(子施設)としての認定要件は満たしていることが確認されているため、いずれかの施設群に属するよう

に促している。3月末までに意向が示された場合には、新たな制度の初年度ということもあり、該当施設の専攻医に不利益が生じないよう配慮する(他の施設と同じく4月1日からの認定)のが妥当と考えている。

#### 審査合格の内訳

単独施設:22。施設群 22(親施設 22;子施設 60)

#### 6. 長期フォローアップ・移行期医療委員会報告

長期フォローアップ・移行期医療委員会の松本理事より、小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業の令和3年度事業について報告がなされた。

#### 6. 遺伝性腫瘍委員会報告

遺伝性腫瘍委員会の大賀理事より、ゲノム関連の今後の取り組みについて、セッションや勉強会などの開催を検討することが提案された。

#### 13. 女性医師活躍支援委員会報告

女性医師活躍支援委員会の滝田理事より、第64回学術集会において、女性医師活躍支援委員会によるシンポジウムの開催を企画中であることが報告された。

#### 理事長報告

##### 1)「公益信託日本白血病研究基金」助成金応募について

学会推薦について学会HPで公募を行い、理事会にて審議の後、推薦を行うことが報告された。

##### 1)日本学術振興会有志賞 受賞候補者推薦依頼について

学会推薦について学会HPで公募を行い、理事会にて審議の後、推薦を行うことが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び理事がこれに記名押印又は署名する。

令和4年3月25日

日本小児血液・がん学会 第64回理事会

理事長 大賀正一 ㊟